

<p>「障害者週間」をご存じですか？ 障害者基本法（第九条第一項） 〔障害者週間〕 国民の間に広く基本原則に関する関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加することを促進するため、障害者週間を設ける。 12月3日～9日は「障害者週間」です</p>	<p>SSC 完全参加と平等 第133号 (共同募金からの助成金の一部で作成しています。)</p>	<p>編集 NPO法人 埼玉県障害者協議会 編集責任者 田中 一 〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1 埼玉県障害者交流センター内 TEL048 (825) 0707 FAX048 (825) 3070 メールアドレス ssk080321@bz03.plala.or.jp</p> <p>発行 NPO法人 埼玉障害者センター 〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1 埼玉県障害者交流センター内 TEL・FAX 048 (833) 7027</p> <p>発売日 毎月10日、20日、30日</p> <p>定価 一部 100円(購読料は会費に含まれます)</p>
---	---	---



念願の120名定員

養護老人ホームひとみ園 園長 ^{もぎ}茂木 ^{みきお}幹央

昭和50年9月の点字毎日の投書欄に「ああ悲しい盲老人」(埼玉県の盲老人より)という投書が掲載されておりました。その内容は「自分



は毎日押し入れの前の畳の上に座って来る日も来る日もつまらない寂しい生活を送っております。こんなことなら死んでしまった方がましです。自分の友人もそう言っています」というものでした。そして、その関連記事として「現在関東地区一都六県の中で盲人の為の老人ホームが無いのは埼玉県だけである」と書いてありました。当時、私は国立東京視力障害センターの教官をしておりましたので、盲老人ホームという施設にあまり関心は無かったのですが、投書者の寂しい気持ちが伝わってきた事と自分の出身県だけに盲老人ホームが無いという事に衝撃を受けたのです。そのような事がきっかけとなり、私は埼玉県に盲老人ホームを建設するのは埼玉県に盲人として生まれた私の仕事であろうという考え方を持つようになり、埼玉県に盲老人

ホームを建設することを決意したのでした。建設地を確保することや建設資金作りの事などで色々と苦しく険しい道のりでしたが最終的には多くの方々のご理解とご協力を得ることができ、昭和54年4月より50名定員の養護盲老人ホームひとみ園を発足させることができましたのです。その後は入園希望者が多かったために昭和56年には50名定員を55名にし、昭和60年には55名定員を80名にし、昭和63年には80名定員を82名にし、平成3年には82名定員を100名にさせていただいたのです。そして、今年(平成31年)はいよいよ100名定員を120名定員にする為の増築園舎が完成します。すなわち、4月1日に着工し、11月30日に竣工します。

(2ページ目へ続く)

もくじ	
念願の120名定員	1・2
機関紙コンクール受賞者発表.....	2
わたしたちは今!	
埼玉県身障者問題をすすめる会.....	3
告知.....	4

(1 ページ目より続く)



養護老人ホームひとみ園

その増築園舎には盲人用の映画館と盲人用のカラオケ喫茶が併設されていますので入園者の教養娯楽活動が大きく前進します。それに、現在我が国には盲老人ホームが50箇所ありますが、120名定員のひとみ園は定員規模において我が国最大の盲老人ホームとなります。

これは、私の望外の喜びとするところであります。

ところで、私はひとみ園を楽しい所にする為の事業の一つとして、今年の8月6日(火)にひとみ園演劇ホールに於いてカラオケ指導員認定第1回全国視覚障害者等カラオケコンクール並びに盲人演劇の集いを開催することと致しました。主催者は、特定非営利活動法人全国カラオケ文化振興協会です。



「埼玉県膠原病友の会」 県課長賞 受賞



3月1日、さいたま新都心エリアにあるウィズユーで、55団体の応募機関紙が出揃い第4回目の埼玉県障害者団体機関紙コンクールが開かれました。

コンクールの表彰では県障害者福祉推進課長賞が、埼玉県膠原病友の会『膠原』など、六紙が選ばれました。高橋勝彦審査委員長(日本機関紙協会埼玉県本部)は、講評にあたって審査内容や審査経過を報告しました。各受賞紙を掲げ、レイアウトやデザインが素晴らしい、読者の声が紙面に載っている点が良いなど受賞理由を述べました。膠原病友の会の石垣さんは「受賞すると思ってなかった。会報づくりは大変。でも励みになりました。」と感想を語っていました。

**第4回 機関紙コンクール
受賞団体紹介**

県障害者福祉推進課長賞
埼玉県膠原病友の会 埼玉支部

埼玉新聞社賞
狭山市手をつなぐ親の会

機関紙協会埼玉県本部賞
虹の会

埼玉障害者協議会長賞
川口太陽の家他

埼玉障害者センター賞
春日部市民の会

特別賞
上尾市手話通訳研究会

わたしたちは、今！

わたしたちの会がめざすもの ～重い障害者を原点にして～

一般社団法人 埼玉県身障者問題をすすめる会

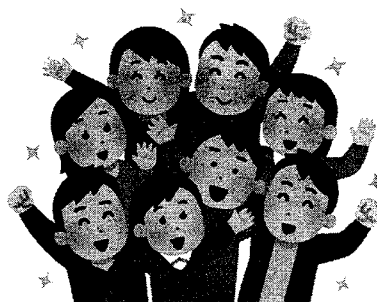
業務執行理事 うすい つねお 白井 常雄

私達の会の原点は、ポリオや脳性マヒの障害者が少しでも健常者に近い生活ができるように手足の機能改善医療に生涯を捧げた一人の整形外科医の言葉で、「重い障害をもった人たちの重度障害者の療護施設を浦和市（現さいたま市）に設置してほしいという皆の願いを行政へ働きかけなさい」という一言でした。

現在、当法人は、さいたま市内で地域活動支援センターはなどけい、訪問介護事業所ヘルパーステーション麦及び相談支援事業所サポートセンター麦を運営しています。それぞれ事業開始から10年を超えて、お蔭様で地域において大きな役割を果たしていると自負しています。

今、活動の輪が岐路に立たされています。設立の理念・原点を再度思い起こし、当会の活動をどのように前に進めていったら良いのかを問い直す時期だと感じています。会に賛同して活動に参加してくれる人を増やす努力をしていかなければならないと思っています。

事業所の運営も人材不足等で厳しさを増していますが、一方で、福祉の多様なサービスを受けて社会生活を享受している障害者は減少しているわけではなく、むしろ高齢化、核家族化等により増加しているのではないのでしょうか。私達法人の使命は、この福祉サービスを今より低下させる事なくより良いものにする事、そしてそのための大きな課題として法人の人の輪を次世代に繋げる事だと考えています。



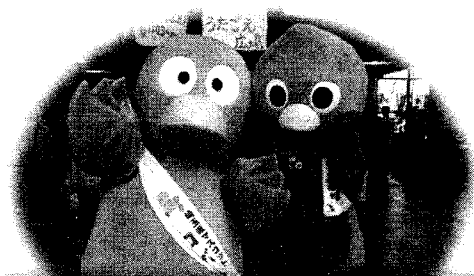
第39回 総会のお知らせ



日時：令和元年6月1日(土)
 会場：埼玉県障害者交流センターホールにて開催
 研修会：13:30～14:50
 講師：結城 俊哉 氏
 立教大学コミュニティ福祉学部教授
 テーマ：「誰もが排除されない社会を目指して」
 ～ノーマライゼーション社会の実現を
 どのように目指したらよいか～
 ★研修会についてはどなたでも参加できます。
 総会：15:00～16:30

令和元年度 第1回 評議委員会

日時：7月13日(土)
 13:30～15:30
 会場：埼玉県障害者交流センター
 会議室1・2
 対象：加盟団体評議員



団体・企業有志の方はご協力を!!

埼玉障害者まつり

日時：令和元年10月6日(日)
 会場：埼玉県障害者交流センターホールにて開催



お問い合わせ

電話・FAX 048-833-7027

<賛助会員加入のお願い>

埼玉県障害者協議会の目的に賛同しご協力頂ける、個人及び団体を募集しております。

賛助会員には年8回の会報の送付、各種研修会・講演会などのご案内を送付いたします。

賛助会員の会費は、年一口 2,000円 です。
入会をご希望の方は、右記の口座へお振込み下さい。

特定非営利活動法人 埼玉県障害者協議会

<郵便振替>

【口座番号】

00130-9-673233

【口座名称】

とくていひえいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人
さいたまけんしょうがいしやきょうどがい
埼玉県障害者協議会

◇ 編集後記 ◇

年度が変わり、また総会を皮切りにいろいろな行事が始まります。
 単に前年度の事業を踏襲するのではなく、何か新しい視点で進めていきたいものです。
 同じような問題意識をもつ仲間たちと、学び合い、助け合い、一緒に笑い合いながら
 障害・難病者の福祉の向上のために一歩ずつ前進していきたいです。 (宮野)